

本校での非違行為防止研修について

上田市立傍陽小学校

去る12月に発生した上田市の小学校教員が逮捕された事件を受けて、本校では、この事実を重く受け止め、以下のような非違行為防止研修をおこないました。

記

1 日 時 12月23日(水) 15:30～

2 目 的

- ・上田市の小学校教職員逮捕に関わる事実の共有と非違行為防止研修

3 内 容

(1) 事実の確認・共有

- ・新聞記事等による確認・共有

(2) 今回の研修の意味について(校長より)

- ・今回、私たち上田市の小学校教員から、このような犯罪を発生させてしまったことは、大変残念なことです。上田市で同じ教職に就く私たちは、この事件を自分のこととして重く受け止め、どうしたら信頼を回復できるのか真剣に考え、研修を積んで、できること全てを組織として、個人として実行していかなければなりません。(後略)

(3) これまでの研修の振り返り(教頭より)

- ・広範囲に重大な影響が長期間続くという想像力を働かせる。
- ・「物事を一つ上の視点から考える」メタ思考が日常的になるように、自己コントロール(セルフケア)に磨きをかける。等

(4) 研 修 ※以下の視点で小グループで話し合った。主な意見を記す。

① 今回の事件に関わる個々の所感の発表

- ・子ども達の気持ちを考えると本当にせつなくなる。
- ・真摯に教育に取り組んでいる学校関係者にとって衝撃であり悲しみである。
- ・支えてくれている保護者や地域の信頼を取り戻すにはどうしたらよいか。

② 自身を語り、開く— 経験を披瀝し語り合おう

- ・「わいせつな非違行為に関わり、こんな対応をした経験がある。」「日頃、こんなことに気をつけている。」等を披瀝しあった。

③ 非違行為の防止のためにどうしたらよいか

- ・「職場で気になることがあれば直接問い質したり、管理職に伝える等、非違行為を許さない同僚性を形成することが大切である。」
- ・「この仕事の使命や価値、やりがい等について互いに語り合い、互いの教育観・子ども観を磨きあって、教師としての自分を育て、確立することが大切ではないか。」等

4 その他 ・今後の研修のあり方について。 等